

周産期・新生児保健医療 Perinatal and Neonatal Health Care		継続	
対象国の条件：			
研修コース番号：201984455-J002			
案件番号：201984455			
主分野課題：保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス			
副分野課題：			
使用言語：英語			
案件概要			
周産期・新生児・小児医療を担当する中央または地方の中核病院の産科部長または小児科部長、看護師長または助産師長等を対象とした、地域と連携した母子保健サービス改善を目的とする研修。日本における周産期・新生児保健医療サービスについての講義や視察、臨床現場研修、研修員間の意見交換を通じて、自国や地域もしくは研修員の所属する保健医療機関における実現可能なサービス改善のための活動計画案を作成する。			
目標／成果		対象組織／人材	
【案件目標】 研修員の所属する保健医療機関が主体となって、地域と連携しながら、特に周産期・新生児ケアにおける保健医療サービスの改善計画を策定し、実施する。		【対象組織】 周産期・新生児小児医療を担当する中央または地方の中核病院。	
【成果】 1. 研修員が所属する保健医療機関において実施されている周産期・新生児保健医療サービスの長所と課題を整理し、研修における習得目標を明確化する。 2. 日本の母子保健医療の変遷および現状を理解する。 3. 母子保健医療サービスの有機的な連携に関するケーススタディや、母子保健医療従事者の活動の見学を通じて、日本の周産期・新生児保健医療サービスの現状と課題への取り組みを理解する。 4. 研修員所属組織において実現可能かつ効果的な周産期および新生児に対する保健医療ケアの改善のための活動計画案を策定する。 5. 研修員所属組織において、活動計画案を検討し、実施する。		【対象人材】 周産期・新生児小児医療を担当する中央または地方のリファール病院の産科部長もしくは小児科部長、または看護師長（プロジェクト関連機関からの研修員を優先する）。職務経験は5年以上とする。	
内 容		2019/9/23～2019/10/19	
1. 事前活動 インセプションレポートの作成において、自国ならびに所属組織の周産期・新生児・小児保健医療サービスにおける現状や課題が整理される。 2. 本邦活動 (1) 来日後、早い段階で活動計画案作成に向けたワークショップを実施し、課題が整理される。 (2) インセプションレポート発表を通じて、各国の現状が研修員同士ならびに受入先担当者間で理解、共有される。 (3) 日本の母子保健医療制度の概略と歴史についての講義。 (4) 周産期、新生児、小児ケアに関する講義ならびにディスカッション。 (5) 母子保健手帳や予防接種に関する講義。 (6) 主に受入先病院での臨床現場の視察(両親学級、新生児蘇生法、1か月検診など) (7) 保健機関や一次医療機関で行われている母子保健や医療の講義・施設見学 (8) 活動計画案作成、発表 3. 事後活動 研修員の作成した活動計画案が所属組織内で検討され、周産期・新生児ケアの保健医療サービス改善計画が策定される。		本邦研修期間	
		担当課題部	人間開発部
		所管国内機関	JICA関西（業務一）
		関係省庁	
実施年度	2018～2020		
主要協力機関	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター		
特記事項 及び ホームページ	https://www.wch.opho.jp		